

I Love Churui

I ♥ ちゅうるい

9

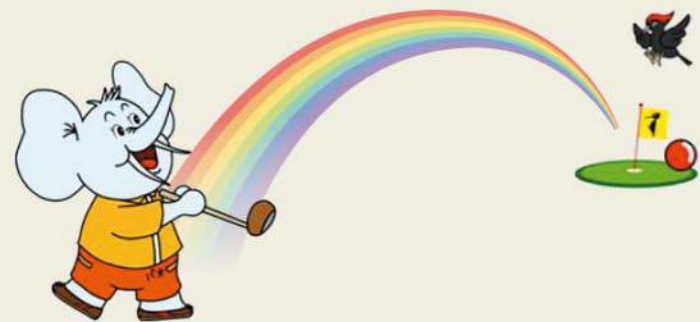
2017 Vol. 508

JA忠類 | Vol.508 | 平成29年9月発行 | 発行 忠類農業協同組合 営農部経営課 | 印刷(株)トリムシステム



幕別町農村ホームステイ開催される!

9月26～27日の日程で開催され、忠類からは6戸の受入で計17名の高校生の受入となりました。



http://www.ja-churui.com

### Contents

役員道外視察研修	2
「直売所ベジタ」秋の大収穫祭り	5
幕別町農村ホームステイ	6
JAグループ通信	7
十勝農業改良普及センター南部支所	
普及センター技術情報	8
生乳生産状況表	9

「必ずチェック 最低賃金! 使用者も、労働者も」

## 北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。)に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されます。

時間額 **810** 円

(効力発生年月日 平成29年10月1日)

※発効日の前日までは、786円です。

- 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金は算入されません。
- 特定の産業(「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」)で働く者には北海道の特定(産業別)最低賃金が適用されます。

厚生労働省北海道労働局 労働基準部 賃金室 Tel 011-709-2311 (内線 3533)

札幌中央 労働基準監督署	Tel 011-737-1190	滝川 労働基準監督署	Tel 0125-24-7361
札幌東 労働基準監督署	Tel 011-894-1120	北見 労働基準監督署	Tel 0157-23-7406
函館 労働基準監督署	Tel 0138-23-1276	室蘭 労働基準監督署	Tel 0143-23-6131
江差駐在事務所	Tel 0139-52-1028	釧路 労働基準監督署	Tel 0154-42-9711
小樽 労働基準監督署	Tel 0134-33-7651	名寄 労働基準監督署	Tel 01654-2-3186
倶知安支署	Tel 0136-22-0206	留萌 労働基準監督署	Tel 0164-42-0463
岩見沢 労働基準監督署	Tel 0126-22-4490	稚内 労働基準監督署	Tel 0162-23-3833
旭川 労働基準監督署	Tel 0166-35-5901	浦河 労働基準監督署	Tel 0146-22-2113
帯広 労働基準監督署	Tel 0155-22-8100	苫小牧 労働基準監督署	Tel 0144-33-7396



## 役員道外視察研修を実施

平成二十九年九月三日より六日までの間、役員道外視察研修を実施致しましたので、次の通り報告致します。

### ■下郷農協同組合

平成二十七年三月、信用事業をJA大分県信連に譲渡。国内のJAに対して信用事業の在り方について平成三十一年五月までに自らの判断で、その方向性を見出すことが求められている中、数少ない事例として見聞させていただいた。



下郷農協の歴史、信用譲渡に至るまでの経緯を説明して頂いた矢崎組合長

下郷農協は、昭和二十三年耶馬溪地区の四分の一にあたる小作農

家で設立。同時期に地主らも対抗するように第一農業協同組合を設立する。

しかし、行政の支援等についても温度差が生じるなど不遇の中、時代は規模拡大による大規模化、農業・化学肥料などを使い大量生産し安く販売していく傾向にあった。下郷農協は生き抜く手段として「少量他品目」を選択した。行政や時代の流れに乗らず、有機農業を行い、消費者の為に「安全安心の品物を届けたい」という気持ち（百姓魂）を持ち続けた。

地理的な条件から、福岡県境の北九州市を視野にいれた産直活動を地道展開した。それは生産者の親戚知人からはじまり徐々に購入者が増えたことが、現在の下郷農協の礎となったものだった。「産直五十年の歴史」のはじまり。

初代組合長の時代から、食に対する「安全安心」を農協の基本理念としていたので、「有機農業」を宣言し、生産者の手取り確保を



信用譲渡後、金融窓口は「下郷出張所」となる

目的に「加工」を手掛けてきた。いまで言う「六次化産業」の先駆けと言えるものであった。

畜産物についても、遺伝子組み換え飼料を一切使用せず、コストも上昇するが、農協の基本理念として理解を得ているとのこと。

「食は命」を掲げている下郷農協は「下郷農協JAS」と言われるくらい徹底していて、「消費者を裏切らない」。

これらの取り組みを背景に、北九州市民生協の立ち上げにも参画しており、現在の組合員数五十万人を有する「Fコープ」との大きな関係が生まれたことも、揺るぎない「安全安心の力」といえる。生協側にとっては、ロットの少な



直売所「ふれあいの店」では地元の食材を生かした無添加オリジナル商品が並んでいる

い産地との取引は面倒な側面も有しているが、「安全安心」の下郷農協の農畜産物を取り扱っていることが、生協組合員の「安心感」を生んでいる。

「耶馬溪牛乳」の愛好者も多く、「Fコープ」を通じての販売となつているなど、下郷農協は、市場を経由しないで、「全量買い取り」を貫いており、今、国がJA組織に対して求めている「委託販売、共計販売」からの脱却を先んじて行っていることも特筆すべき点である。

「安全安心」を貫く背景には、消費者との交流に「力」を注いでおり、毎年実施している。いつでも受け入れ生産者も輪番で対応す

るなど、一貫した農協の姿勢が浸透しているものと伺える。

農業を志す者の受け入れについては、下郷農協の取り組みが功を奏し、「そこには安全がある」と言うこと、生活していく上で、学校、診療所、老人ホームなどのインフラが揃っていることも重なり、移住者が来てくれる。



下郷農協の施設が建ち並び敷地内

「空き屋紹介プロジェクト」の事務局を持つ下郷農協は移住者の住む場所も安心して探せるように配慮している。

このような下郷農協であるが、現在の「矢崎組合長」は職員時代に管理金融畑を長く勤めた経験があり、「金融事業の制約」が農協経営に大きな影響を受けることを

危惧。初代組合長からの方針であった「組合員のための農協であるから、農協は赤字でも構わない」という経営は、信用事業を行う農協にとって「自己資本比率」の適正値には程遠く、県中央会を通じて組織整備（合併等）の圧力もあつたが、「合併」は組合の基本理念である「有機農業宣言」によつて行つてきた「産直販売」が継続できなくなることが納得出来ないため、「合併」は行わないことを今日まで貫いてきている。

### ■独立行政法人 造幣局広島支局

日本の貨幣を造っている造幣局広島支局を視察し、造幣局の役割や貨幣の現状、製造工程を学びました。



工場見学前に造幣局の概要説明

製造工程見学前に、スライドを見ながら広島支局の沿革の説明を受ける。昭和二十年に広島市内の仮工場で貨幣の製造開始後、原爆により製造一時中断。その後現在まで六種類の通常貨幣を製造しており、全国三ヶ所の造幣局（大阪本局・埼玉支局）でも唯一の貨幣製造の一貫製造ラインを持った貨幣工場で通常貨幣、記念貨幣、勲章、メダルの製造を行っている。



工場案内時、無線機で説明

製造工場では、実際に五百円硬貨の製造が行われており、金属の溶解、熱間圧延、冷間圧延、圧穿、圧縁、洗浄、圧印、検査、計数、袋詰めなどの各工程を見学。この広島工場だけが原材料の溶解（古い貨幣の再利用も含め）を手掛け



造幣局広島支局：貨幣・勲章の展示室前

ており、一四〇〇度の炉の周りで作業をしている職員の方々の苦勞が見て取れました。

造幣展示室には、創業以来現在に至るまでの貨幣や大判・小判などの古銭、外国の貨幣、勲章などの展示コーナーや貨幣セットの販売コーナーがあり、また、毎年四月中旬頃には、五万坪の敷地内に二〇〇本以上の八重桜を「花のまわりみち」と称して構内が無料開放され、多くの人々が花見に訪れる。

明治政府の時代には、近代国家を建設するにあたり、幕末の乱れた貨幣制度を立て直す必要があると考え、先進諸国の貨幣に劣らない貨幣を製造するため、明治四年



に造幣局を設立。

近年、電子マネーの発展により貨幣の製造量は年々減少しており、製造ゼロになる可能性もありうる。一世紀の時を経てここも社会環境の変化の影響を受けているのだと感じました。

なお、貨幣は造幣局で製造され政府が発行、紙幣は日本銀行が発行し国立印刷局によって製造されている。いずれの通貨も日本銀行の取引先金融機関が日本銀行に保有している預金を引き出すことにより、世の中に出回ることになる。

電子マネーの発展は、時代毎の通貨を見ることさえも奪うこととなる。通貨を必要としない取引がすぐそこに来ている。

■広印 広島青果株式会社

広島カープの独走で盛り上がる市民一五〇万人の胃袋を支える中央卸売市場の広島青果を視察しました。当日は、豊後社長自ら会社概要、今後目指すべく市場の在り方について説明して頂きました。

広印広島青果(株)は、平成二十八年四月に広印青果と広島中央青果の二社合併で発足。合併の背景に

は、輸入物の増加や市場外取引などで市場経由率が減少する中、同じ市場内で集荷競争をしている時代ではなく、集荷力を強化するための規模を拡大するため。これは産地の高齢化による生産減が響いている。一方で、売上高は品薄感から上昇基調の兆しもあるが、パイが小さくなるなか、いち早い対応の結果である。中四国の拠点市場として豊富な品揃えと物量で地域の食を支え、選ばれる市場、必要とされる会社を目指し、役員が全員経営を掲げ、改革に余念がない。



豊後社長による概要説明

ひとつには、時代のニーズと品質管理に重点を置き、野菜の加工事業の展開。カット野菜とパッ

〜十周年目の直売所「菜の館ベジタ」の秋の収穫祭開催!

平成一九年九月一五日にオープンして、今年の九月で十周年を迎えたJA忠類農畜産物直売所「菜の館ベジタ」が、九月一七日に十周年を感謝して「秋の収穫祭」を開催致しました。当日は晴天に恵まれ、多くのお客様にご来場頂きました。

青空市では、和牛農家の坂井さんによる「さかえ和牛の」フランクフルトやハンバーグの販売の他、芹沢農場・村田農場も家族総出で出店頂き、とうきびや馬鈴しよ等を販売致しました。また、忠類にどろぶたの牧場がある「ランチョ・エールパソ」や、忠類ゆり根を使用したコロッケを販売している「木川商店」にも



出店して頂き、大盛況となりました。この時期は、とうきびが大人気で、ベジタでは数種類のとうきびを販売しており、多くのお客様がとうきびを求めて遠くからもお越し頂いており、今年度最高の売上となりました。

これからの時期は、馬鈴薯や忠類ゆり根が店頭に並び、地方発送も承っております。今年度の営業は十一月二日までとなっております。最終日にはイベントを開催する予定となっております。お得な商品やお越し頂いて満足していただけるような内容を企画しておりますので、沢山のご来場者をお待ちしております。

ケージ機能を持った加工センターの建設。さらにコールドチェーンに対応した千平米の高機能低温売場の建設産地から売場まで、青果物を低温のまま保つ物流システムの構築。現在、耐震化の問題で市場建設の建て替えを検討中。



物を売るだけではなく、提案していく。カープにちなんで赤と白の品を企画中

現在政府で卸売市場法の抜本見直しが検討されているが、豊後社長曰く、産地の集約化や量販店の集約化が進み、中間どころの市場だけが今までのままで良いはずがない。生産者、消費者のための改革ならば自ら受け入れ改革すべきである。今置かれているJAの自己改革同様の考え方であった。

産地と食卓の架け橋となるために、量販店・外食・消費者のニ

ズを把握し、産地への情報提供を行うことが、新しい市場の在り方と考える。また、仲卸とタイアップして、コンビニ・生協・大学など新分野を開拓する必要がある。

それぞれが持つ産地や販売先とのつながりや人材などをフル活用し、新たな卸売市場のビジョンを描くことが重要である。

最後に場内を見学し、昨年の台風の影響により量販店は輸入物の割合を増やした結果、ところ狭しと並んでいる、いも・タマネギ・人参・かぼちゃが大量に積み重ねてあり、価格は期待出来ない状況が当面続くとのことでありました。



ところ狭しと並ぶメークインなど

ストップ! 農作業事故

こんなときは要注意(その一)

人間工学専門家 ●石川文武

交通事故は以前に比べて格段に減少しました。農作業事故もわずかですが減少傾向にあります。関係者が事故防止に尽力しているからですが、事故ゼロにはなりません。どのような状態のときに事故が起きやすいかを紹介し、事故防止活動につなげていただきたいと考えています。

事故には原因があります。人に関することとして、肉体的な不安定、精神的な不安定、心理的な不安定です。作業手段である機械や器具類の不備もあります。そして、作業環境に誘因があることです。これらが単独で主原因となることは少なく、複合原因となつて発生することが大半です。従つて事故原因を分析するときには、人・機械・環境のどれかに偏らず調査し再発防止対策を決定する必要があります。



人に関することとして、肉体的不安定があります。これは、作業者の体格と機械の操作性、運転スペースなどがマッチングしていないことから起こりますし、体調不良、作業に適さない薬の服用も原因となります。精神的な不安定は、作業に習熟していないこと、守らなければいけない基本ルールを無視しがちなことが挙げられます。心理的不安定は、農作業に集中できない問題、例えば、共同作業やパートナーとの意思疎通が図られていない、地域の行事企画などで、直接農作業とは関係のない業務に忙殺される、などです。農作業中ではできる限り安全行動に集中する習慣を付けることが基本です。

作業環境では、集中豪雨などによる田畑の損壊や品質・収量の低下などが原因となりますし、水田への進入路が施工時よりも悪化している場合などで起こります。

現代農業は機械抜きではなし得ません。大切な収入に結びつく作業ですが、最も基本である正しい点検修理が実施されていないことが悲劇を招きます。特に、安全装備を取り外したり、危険箇所への接触などが事故につながってきます。



JA GROUP TSUUSHIN

### 幕別町農村ホームステイ実施される

幕別町で平成二十四年度から北海道外の都市圏の高校を対象とした幕別町農村ホームステイが今年度も実施されました。今年度の第二校目の農村ホームステイとして九月二十六日、二十七日の日程で、大阪府立市岡高等学校の生徒三十七名を幕別町内の十三農家で受入を実施。

二十六日には幕別町集団研修



渡辺牧場でエサやり体験!



芹沢農場で馬鈴薯の収穫体験!

施設「こまはた」で入村式が行われ、各農家に移動をして農業体験が始まり、忠類地区では六戸の農家で十七名の受入をしました。実際に酪農体験をした学生は、自分たちが何気なく食べた飲んでいたものの過程を実際に体験することができて良かったと楽しんでいる様子が見受けられました。翌日退村式が行われ農村ホームステイが終了しました。

## JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々  
のトピックスなど、組合員の皆様定期的に  
お伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ  
トをご覧ください。

### JA北海道中央会

JAグループ北海道が取り組む「サポーターづくり」の一環として制作した、スマートフォンアプリ「JA2MP (ジエイエ イジャンプ)」のダウンロード開始から約1年が経過しました。

各地でのPR活動を通じて皆さまにダウンロードして頂いた結果として、平成29年8月に、1万ダウンロードを突破しました。

今後も、魅力ある新鮮かつタイムリーな農畜産物情報を発信するため、アプリのコンテンツの充実と消費者の皆さまへのPRに取り組んで参ります。



### JA北海道信連

JAバンクでは、青少年の育成支援とスポーツ応援を目的として、平成21年度より全日本大学駅伝対校選手権大会へ特別協賛を行っております。

8月に札幌市のモエレ沼公園で行われた北海道地区予選会には、地元JA・本会・農林中央金庫の職員が大会のサポート役として参加し、道産食材を使用した「おにぎり」「飲むヨーグルト」及び「JAバンクオリジナルタオル」を選手達へ差入れしました。



### ホクレン

ホクレン訓子府実証農場(訓子府町)では、来年4月から1年間、農場での酪農研修を通じて就業に必要な知識や技能を習得する「平成30年度酪農研修生」を募集しています。研修は乳牛飼養管理、搾乳、子牛哺乳育成、自給飼料栽培管理などの実践研修を中心に、酪農畜産に関する基礎知識を習得するための座学研修も実施します。詳しい内容については、ホクレン訓子府実証農場業務課(☎0157-472191担当:佐々木)まで。



### JA共済連北海道

秋の全国交通安全運動(9月21日)にあわせて、道警・交通安全協会と連携し、道内各地で本会職員による街頭啓発活動を展開します。交通安全旗や横断幕を掲げてドライバーと歩行者へ安全運転や交通ルールの遵守を呼びかけます。(札幌地区は9月29日実施予定)

JA共済連北海道は交通安全啓発活動を通じて安心して暮らせる地域づくりに役職員一同取り組んでまいります。



1昨年度実施の様子



### JA北海道厚生連

旭川厚生病院では、「土曜ドック」を実施しています。男性を対象としており、各種オプション検査も可能です。随時予約を受け付けております。

札幌厚生病院では毎月第2土曜日に、「臍臓・胆のうドック」実施しております。

また、帯広厚生病院では、オプション検査の「脳ドック」を毎月第2土曜日に実施しております。



### ～年金受取口座を指定されている方へ～

拝啓 すがすがしい秋風の吹く頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。平素は年金のお受け取りをはじめJAをご利用いただき、誠にありがとうございます。JAでは日頃より年金受取口座をご指定されている方に対し感謝の気持ちとして、ささやかではございますが、お礼の品を用意させていただきました。もう皆様にハガキは届いているでしょうか? ハガキをお持ちになり金融窓口までお越し下さい。私どもは皆様方に親しまれ愛されるJAとして今後も引き続き努力を重ねてまいりますので、どうぞ末永くお引き立て賜りますようお願い申し上げます。なお、**引換期限は平成29年11月30日まで**とさせていただきます。

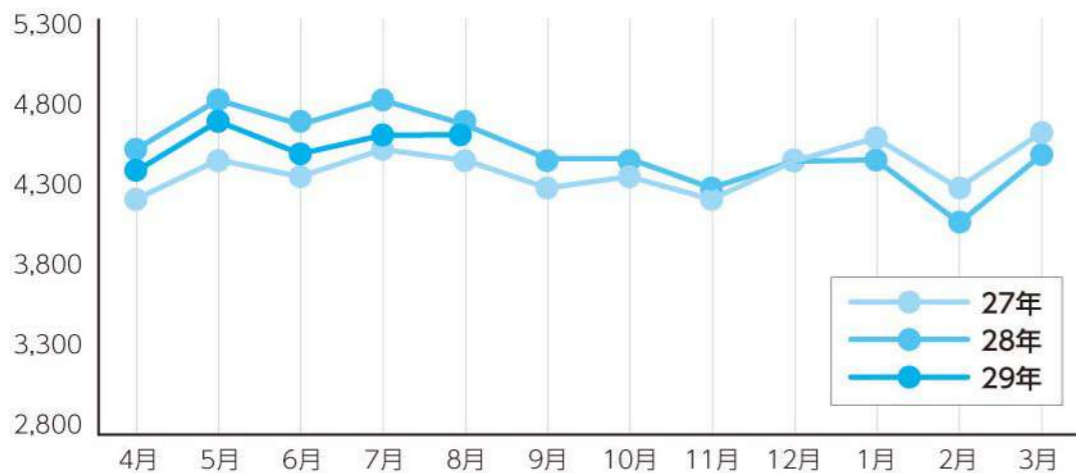


平成29年9月吉日  
忠類農業協同組合  
代表理事組合長 多田 智





# 生乳生産状況表



# ホクレン十勝家畜市場だより



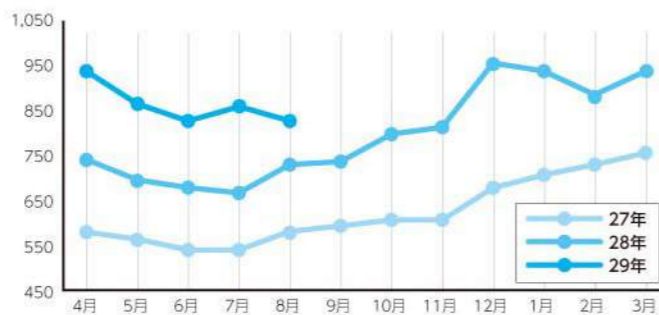
## 乳牛

- 売買頭数: 544頭 (成立77.8%)
- 平均価格 (税込): 836千円 (先月比30↓, 前年比105↑)

### 相場予想

先月の平均価格は、暑熱事故へ警戒感から引き合いが弱まったこともあり、やや弱含みで推移しました。今月は、秋分挽の上場となるため、平均価格は横ばいあるいは強含みで推移すると考えられます。

### 乳牛市場 (初妊牛) 平均価格の推移

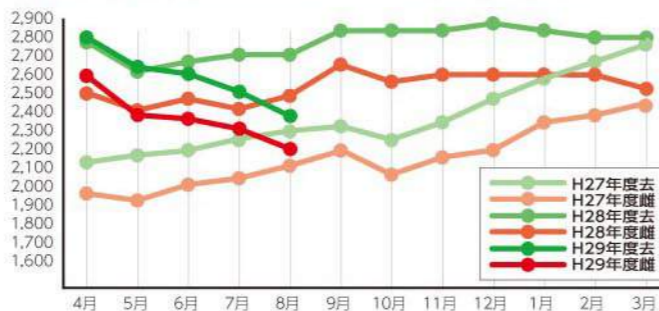


## 黒毛和種・F1

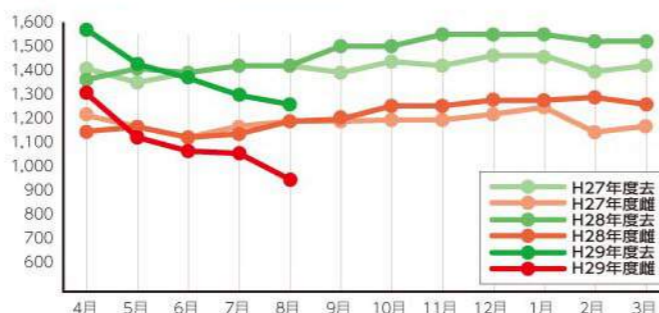
### 結果速報

- 売買頭数
  - 黒毛和種去勢 992頭 (成立90.4%)
  - 乳用交雑種去勢 1,089頭 (成立91.3%)
  - 黒毛和種雌 682頭 (成立93.2%)
  - 乳用交雑種雌 1,372頭 (成立93.1%)
- kg単価
  - 黒毛和種去勢 2,388円 (先月比141↓)
  - 乳用交雑種去勢 1,247円 (先月比43↓)
  - 黒毛和種雌 2,219円 (先月比105↓)
  - 乳用交雑種雌 1,024円 (先月比95↓)

### 肉牛市場 (黒毛和種251-300kg) kg単価推移



### 肉牛市場 (F1) kg単価推移



# 子牛の寒冷対策について

● 十勝農業改良普及センター十勝南部支所

夜温が急激に低下する時期になりました。  
特に、若齢子牛は、第1胃が未熟で発酵熱の発生が少なく、寒さの影響を大きく受けます。それは、増体が遅れる原因にもなります。

育成牛の中でも若齢子牛の飼養環境について再確認し、寒冷ストレスを回避しましょう。

## 1. 子牛が寒さを感じない (体温が奪われる時)

- ① 体に風があたる  
・ 風によって体温が運び去られてしまいます。
- ② 牛体が濡れている  
・ 牛体が濡れていると気化熱で体温のロスが起きます。また被毛が、体表面に空気を含み事が出来ずに断熱効果が低下します。
- ③ 冷たいものに触れる  
・ 牛床のコンクリートなどに直

接、牛体が触れると体熱が冷たい床面に奪われてしまいます。  
④ 極端に広く天井が高い空間  
・ 子牛は、体脂肪率が3%前後と非常に少ない。しかも、体重当たりの表面積が大きく放熱しやすい。

## 2. 寒冷対策の基本

寒冷対策は次の4つのことが基本となります。

1. 風を体に直接あてない
2. 体を濡らさない
3. 冷たいものに触れさせない
4. ハッチなどで子牛の周囲を覆う



- ・ すきま風を防ぐためのベニヤ板、カーテンなどを設置する。
- ・ カーフハッチの活用。
- ・ カーフジャケットの利用。
- ・ 温熱ヒーターなどを利用して水槽の飲水温を10度程度に管理する。
- ・ 牛床にバスマットなどを敷く。そして、前足の半分ぐらい埋まるぐらい敷料を厚めに敷く。
- ・ 敷料をこまめに交換する。



カーフジャケット



敷料を厚めに敷く

## 3. 効果的な防寒対策

## 4. 牛舎換気も忘れないで!

どのような寒冷対策においても、気をつけなければならないのは「換気を妨げない」ことです。冷気を直接牛体にあてないようにならぬように、湿度や臭気(アンモニアガス)、ほこりを外へ排出することは、呼吸器病などの疾病予防の面からもきわめて重要なので定期的な換気をおこないましう。

また冬期間は、施設を締め切りにしがちですが、日中の比較的暖かい時間は、必ず育成舎のカーテンを開けるようにし、窓は朝作業終了後に開けて、夕方作業で閉めるなど新鮮な空気の確保に注意を払いましょう。



夜間にビニールシートでハッチを覆う